

市内遺跡 2020

令和2年度小諸市内遺跡発掘調査報告書

例 言

- 1 本書は長野県小諸市に所在する埋蔵文化財包蔵地内で令和2年度に実施した、各種開発事業を原因とする発掘調査報告書である。
- 2 調査は国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を受けて、小諸市教育委員会事務局文化財・生涯学習課が実施した。
- 3 調査にかかる組織は次のとおりである。




教育長	小林 秀夫
教育次長	内堀 浩宣
文化財・生涯学習課長	土屋 雅志
文化財・生涯学習係長	鈴木 一枝
文化財・生涯学習係	高橋 陽一 土屋 敦 望月 博史 土屋 千浩

(ただし、高橋陽一は令和2年4月30日まで)

調査作業員	星野 保彦 大和田 誠
-------	-------------
- 4 調査は高橋陽一、望月博史（文化財・生涯学習課文化財保護担当）が担当した。
- 5 本書の執筆・編集は星野保彦、井出勇介が実施した。
- 6 調査に関する資料は、小諸市教育委員会の責任下に保管している。
- 7 調査にあたり、長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課からご指導、ご助言を頂いた。また、施工主や地域の方々には日程調整や発掘調査の承諾等でご協力を頂いた。記して深く感謝する次第である。

凡 例

- 1 挿図中の略記号は、Tr= トレンチ、SB= 住居址、SK= 土坑を表す。
- 2 挿図中におけるスクリーントーンは下記のとおりである。

遺構		: 住居址 (SB)		: 土坑 (SK)		: カクラン
----	---	------------	---	-----------	---	--------
- 3 土層の色調は、『新版 標準土色帖』（1990年版）に準拠している。

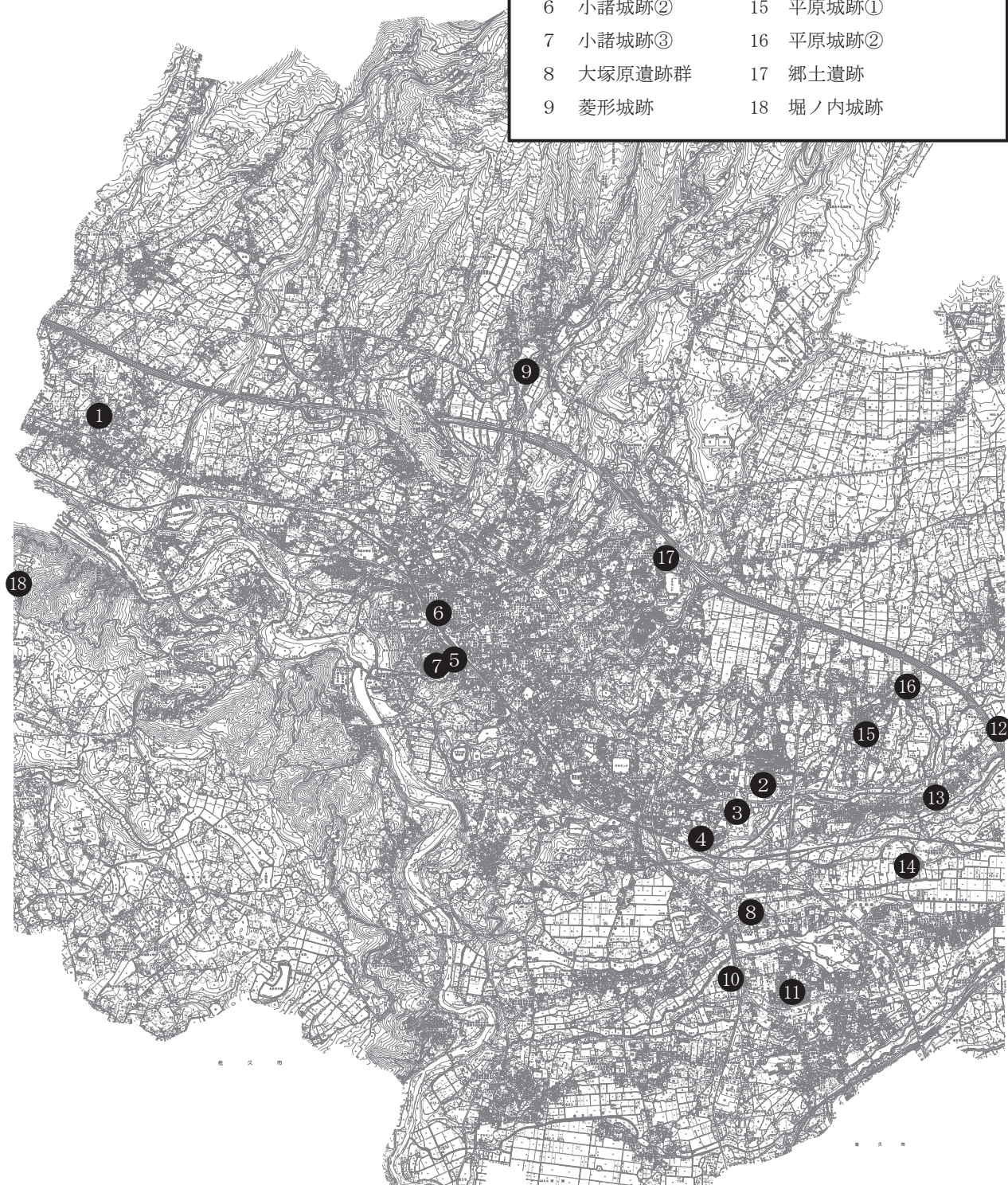
目 次

調査遺跡位置表示	2
上久根遺跡	3
柏木原遺跡群①	4
柏木原遺跡群②	5
柏木原遺跡群③	6
小諸城跡①	7
小諸城跡②	8
小諸城跡③	9
大塚原遺跡群	11
菱形城跡	12
谷地原遺跡群①	13
谷地原遺跡群②	14
三子塚遺跡群①	15
三子塚遺跡群②	16
宮ノ反A遺跡群	17
平原城跡①	19
平原城跡②	20
郷土遺跡	21
堀ノ内城跡	22

調査遺跡位置表示 1 : 50,000

試掘調査

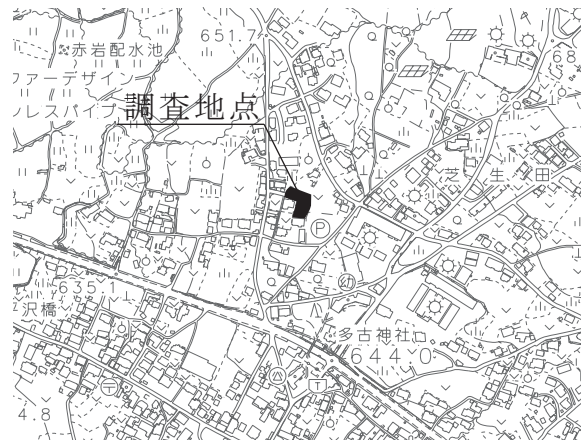
- | | |
|-----------|------------|
| 1 上久根遺跡 | 10 谷地原遺跡群① |
| 2 柏木原遺跡群① | 11 谷地原遺跡群② |
| 3 柏木原遺跡群② | 12 三子塚遺跡群① |
| 4 柏木原遺跡群③ | 13 三子塚遺跡群② |
| 5 小諸城跡① | 14 宮ノ反A遺跡群 |
| 6 小諸城跡② | 15 平原城跡① |
| 7 小諸城跡③ | 16 平原城跡② |
| 8 大塚原遺跡群 | 17 郷土遺跡 |
| 9 菱形城跡 | 18 堀ノ内城跡 |



試掘調査

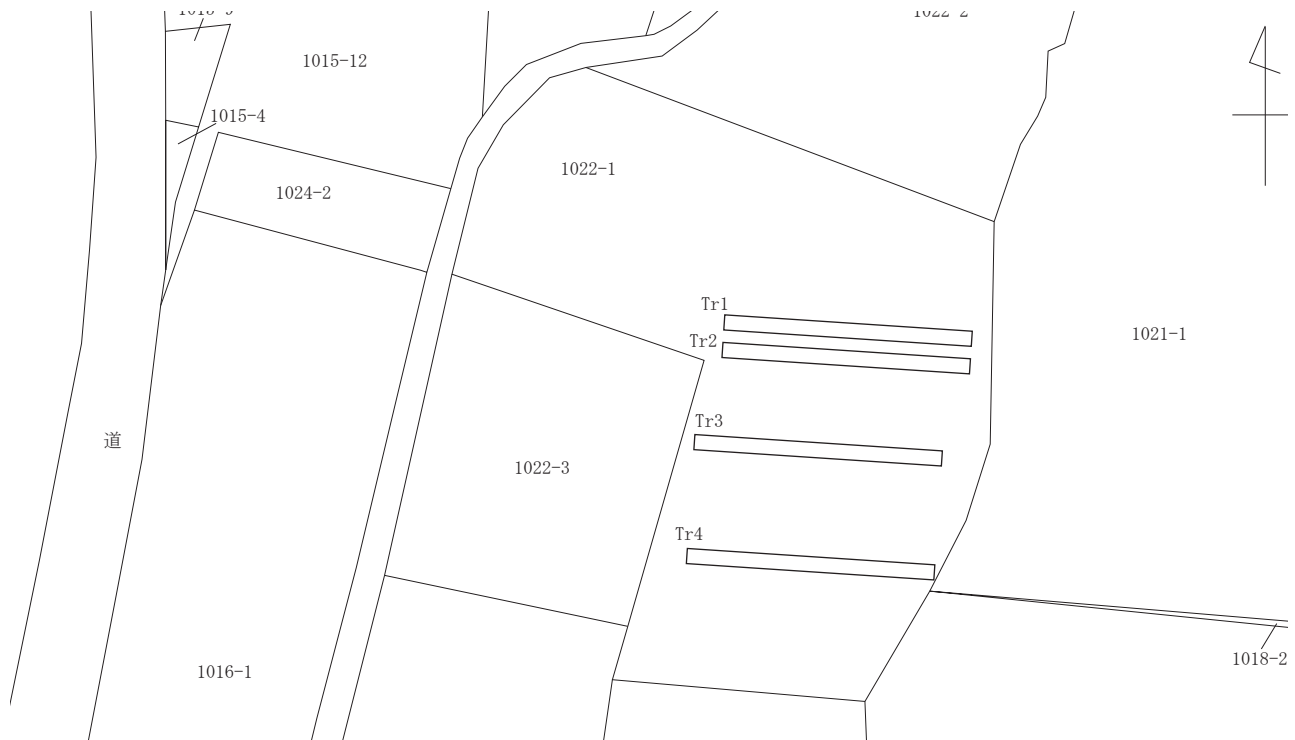
上久根遺跡

所在地 小諸市大字滋野甲 1022-1
事業概要 太陽光発電設備設置
開発者 株式会社クラカンエコライフ
調査期間 令和2年7月22日
調査面積 65.6 m²
検出遺構 なし
出土遺物 なし
調査所見



位置図 (1 : 10,000)

太陽光発電設備に付属する浸透施設を対象に試掘調査を実施する。
計画地盤は現況地表面より 70cm 程度のところで、耕作土内である。計画地盤で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



全体図 (1 : 500)



調査地全景【北より】



Tr1【東より】

試掘調査

柏木原遺跡群①

所在地 小諸市大字柏木 219-1、219-5、224-39

事業概要 集合住宅建設

開発者 大東建託株式会社

調査期間 令和2年5月7日～5月8日

調査面積 195 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

整地を伴う集合住宅の建設が計画され、試掘調査を実施する。

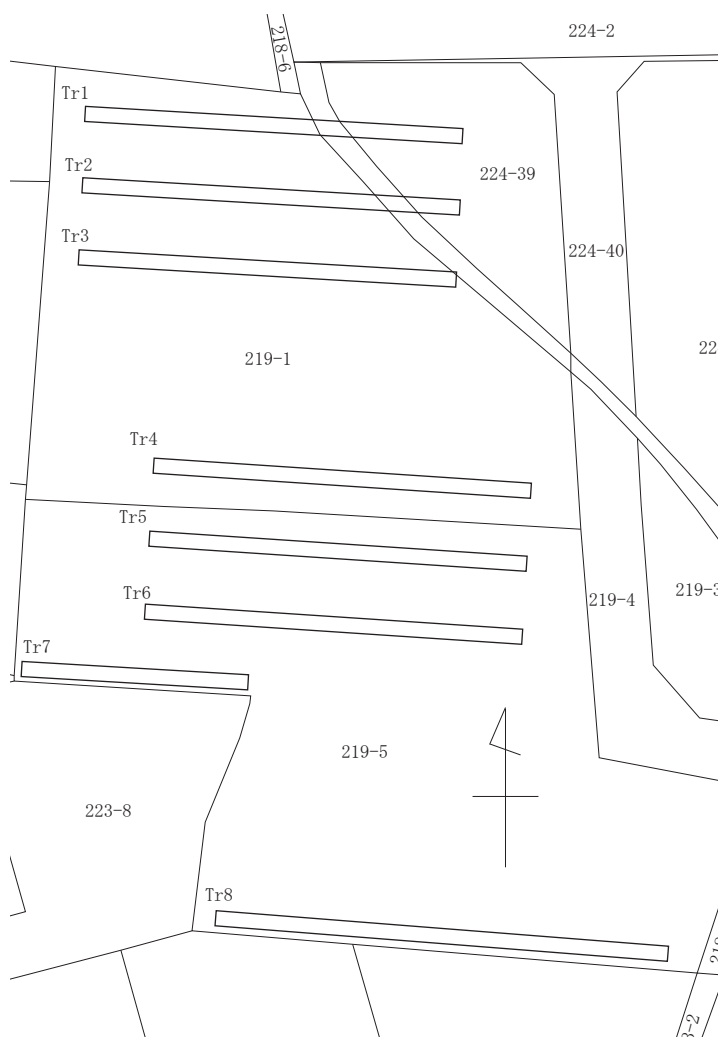
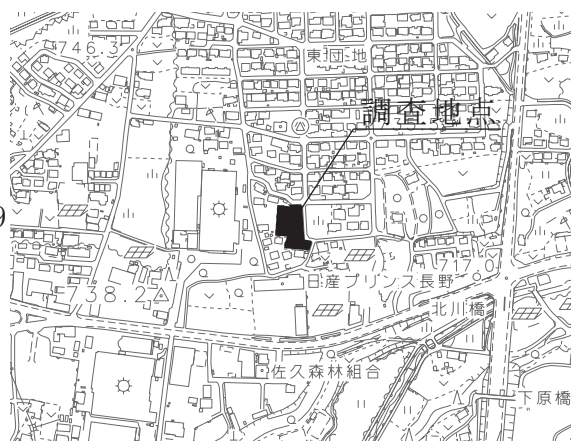
基本層序は次のとおり。

1層 黒褐色 (10YR2/3)。耕作土。

2層 暗褐色 (10YR3/3)。

3層 黄褐色 (10YR5/8)。5 cm ～ 10 cm 大の軽石を含む。浅間第2軽石流堆積層。

3層頂部で遺構の検出作業を実施したが、確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南より】



Tr1【東より】

試掘調査

柏木原遺跡群②

所在地 小諸市大字柏木 161-2、161-4、180-3、190、
190-3、190-4、大字平原 988-2、988-4、992-2

事業概要 工場建設

開発者 株式会社小諸村田製作所

調査期間 令和3年1月20日

調査面積 42 m²

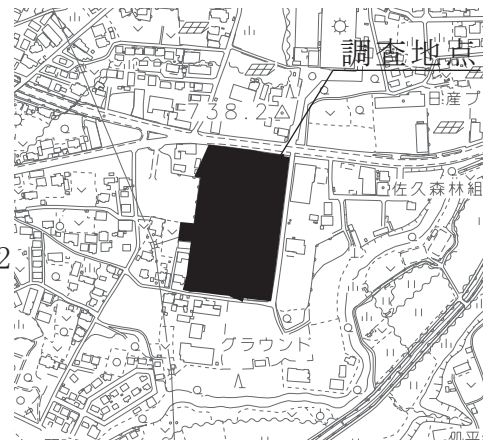
検出遺構 なし

出土遺物 なし

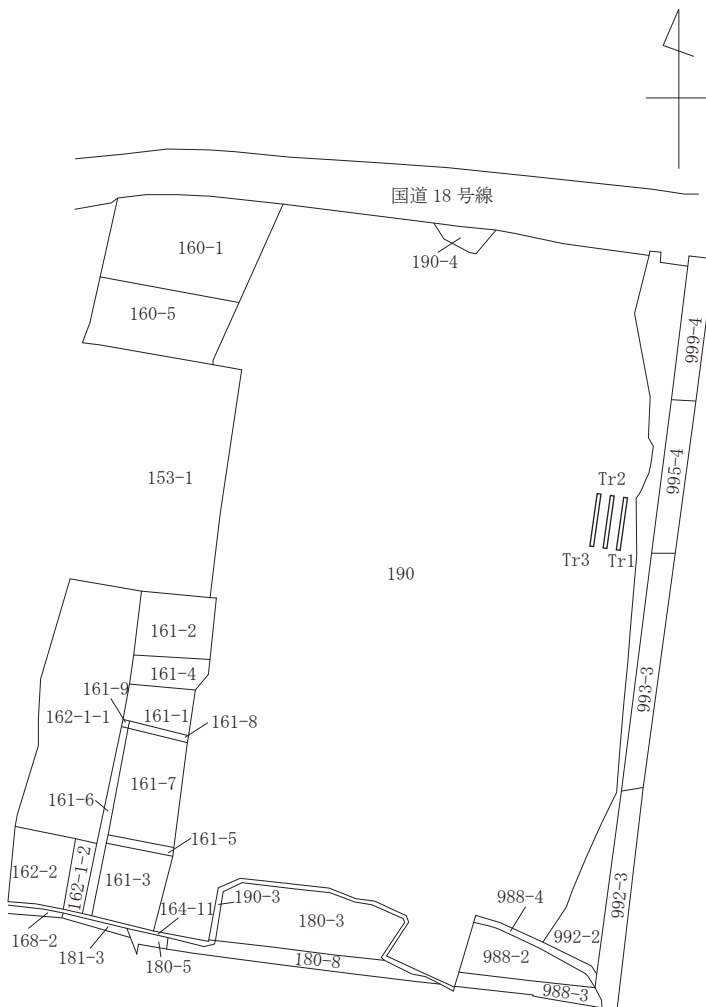
調査所見

工場の水処理施設棟建設に伴い試掘調査を実施する。調査区に3本のトレンチを設定し、重機を用いて掘り下げた。現況地表面より90cm～160cm下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を行ったが、遺構は確認できなかった。

掘削した層からは塩ビ管や土管が検出され、調査地全面にわたって著しく攪乱を受けていることを確認した。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 2,000)



調査地全景【北西より】



Tr1【北より】

試掘調査

柏木原遺跡群③

所在地 小諸市大字柏木 128-6

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和3年3月24日

調査面積 2.4 m²

検出遺構 なし

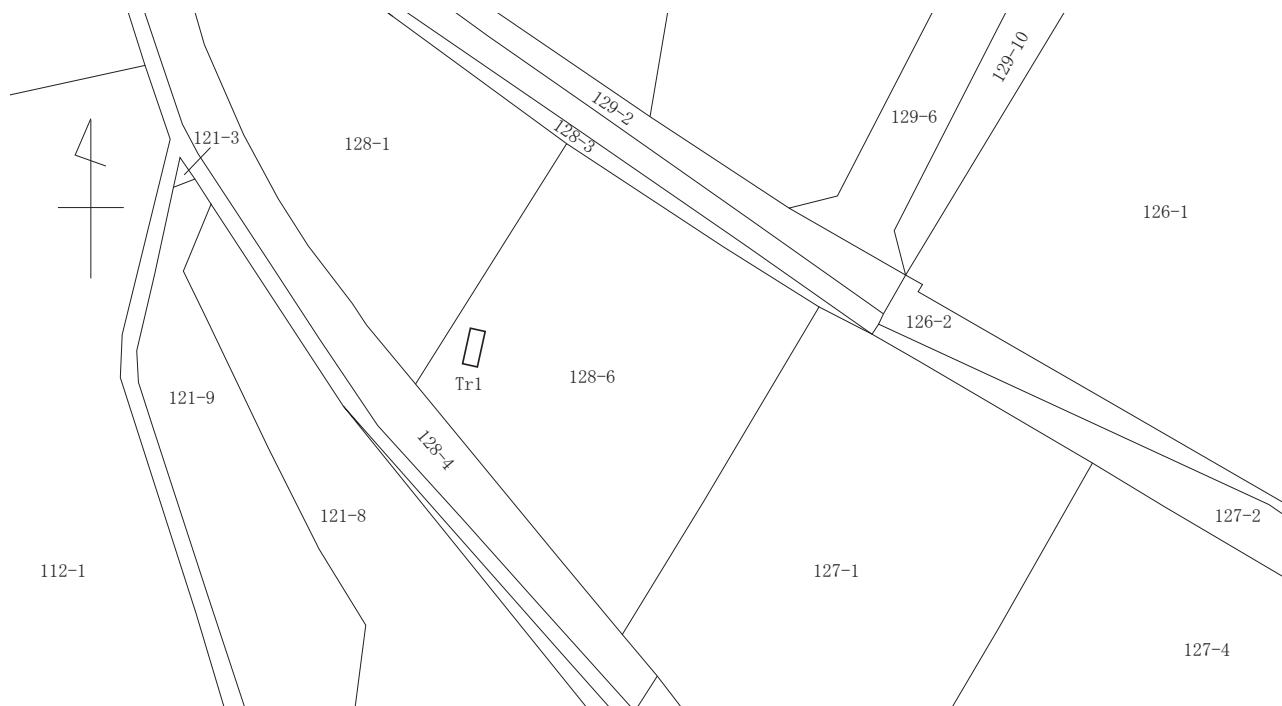
出土遺物 なし

調査所見

個人住宅の建設に合わせて試掘調査を実施する。浄化槽を調査の対象とし重機により掘り下げを行った。現況地表面より60cm下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を行ったが、遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



位置図 (1:10,000)



全体図 (1:500)



調査地全景【東より】



Tr1【南より】

試掘調査

小諸城跡①

所在地 小諸市古城三丁目 570-1、970-2

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和2年5月19日～5月22日

調査面積 15 m²

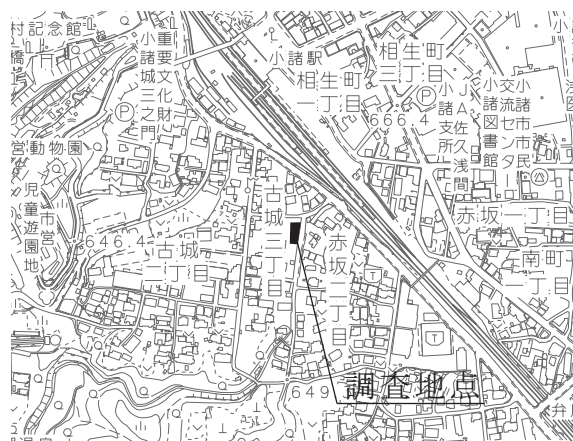
検出遺構 なし

出土遺物 なし

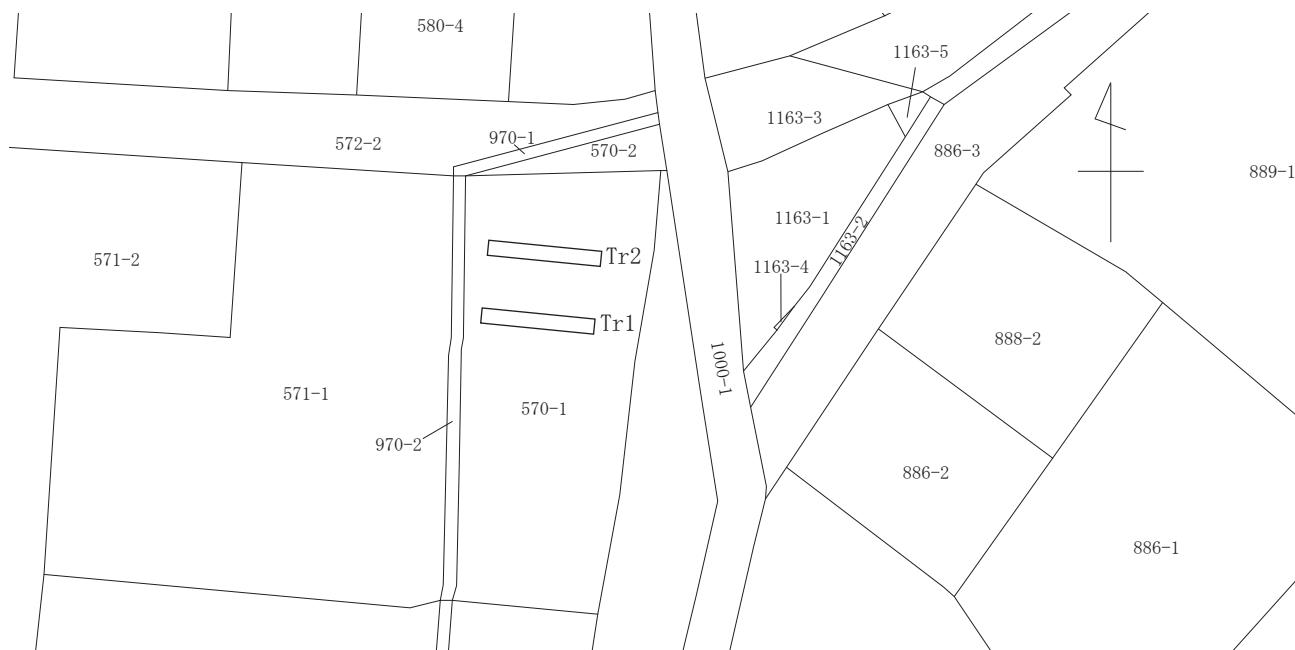
調査所見

個人住宅の建設に合わせて試掘調査を実施する。地盤補強工事を調査の対象とし重機により掘り下げを行った。現況地表面より270cm下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を行ったが、遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。

掘削した層からは現代のゴミが検出されており、調査地全面にわたり著しく攪乱を受けていることを確認した。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南東より】



Tr1【南より】

試掘調査

小諸城跡②

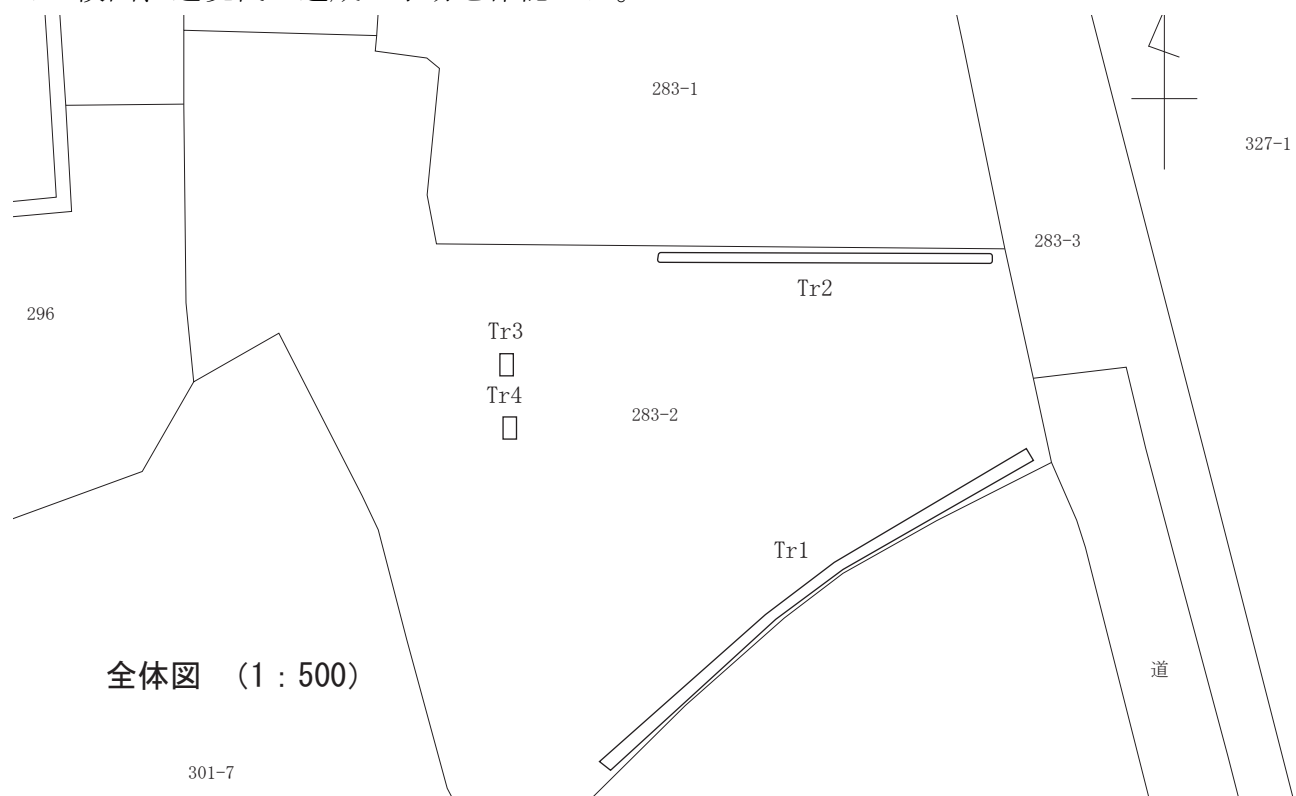
所在地 小諸市古城一丁目 283-2
事業概要 公園整備
開発者 小諸市
調査期間 令和3年3月19日～3月31日
調査面積 43.9 m²
検出遺構 なし
出土遺物 なし
調査所見

公園造成に伴い排水施設、電源管路部分を対象に試掘調査を実施する。

計画地盤まで掘り下げて調査を行ったが、ガラス瓶やプラスチックごみなどの現代のゴミが検出、近現代の造成工事跡を確認した。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【東より】



Tr1【東より】

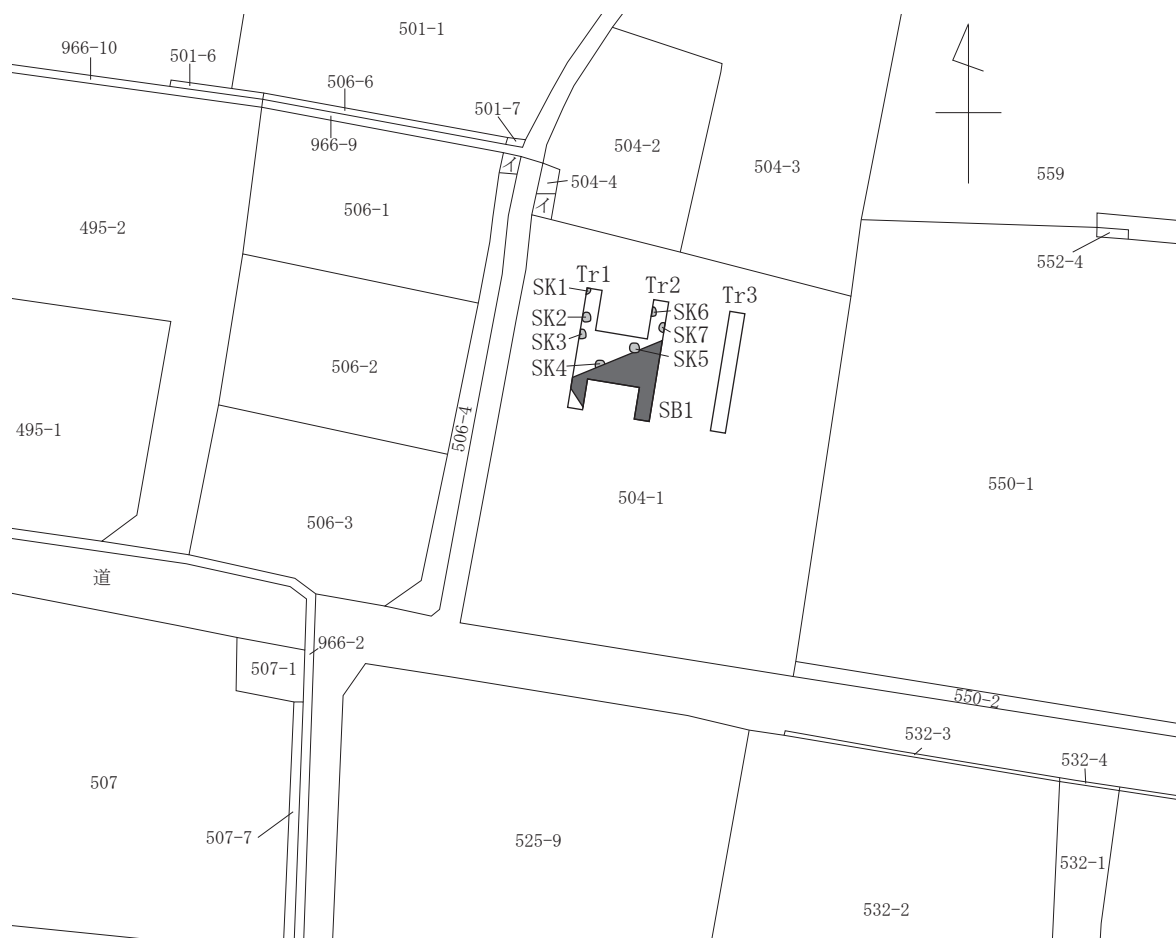
小諸城跡③

出土遺物 土師器破片、黒色土器破片、須恵器破片、
緑釉陶器破片、焙烙破片、内耳鍋破片、
すり鉢破片



位置図 (1 : 10,000)

遺物としては、遺構内外で、土師器、黒色土器、須恵器、緑釉陶器、焙烙、内耳鍋及びすり鉢の破片が確認された。



全体図 (1 : 500)



調査地全景【西より】



SB1【北より】



SB1【南より】



写真下から SK1、SK2、SK3【北より】



写真左から SK4、SK5【北東より】



写真上から SK6、SK7【北より】



Tr3【北より】

試掘調査

大塚原遺跡群

所在地 小諸市大字御影新田 1962-2、3、4、1963

事業概要 集合住宅建設

開発者 大和ハウス工業株式会社

調査期間 令和2年6月9日

調査面積 90 m²

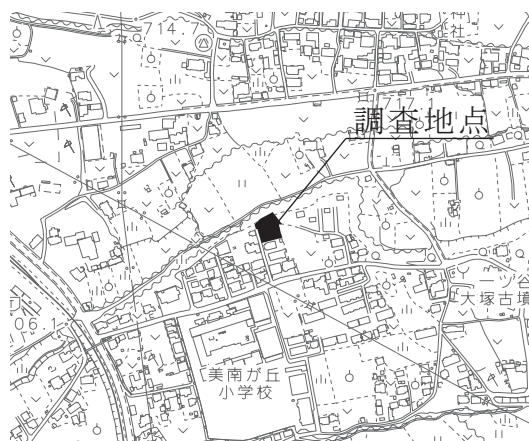
検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

集合住宅の建設に伴い試掘調査を実施する。調査区に4本トレンチを設定し、重機により掘り下げた。現況地表面より80cm～1m程度下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を行ったが、遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。

掘削した層からは塩ビ管や現代のゴミ等が検出されており、ところどころ攪乱を受けていた。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南西より】



Tr1【西より】

試掘調査

菱形城跡

所在地 小諸市大字菱平 1217
事業概要 太陽光発電設備設置
開発者 株式会社クラカンエコライフ
調査期間 令和2年12月7日～12月8日
調査面積 101 m²
検出遺構 なし
出土遺物 なし

調査所見

太陽光発電設備に付属する浸透施設を対象に試掘調査を実施する。

基本層序は下記のとおり。

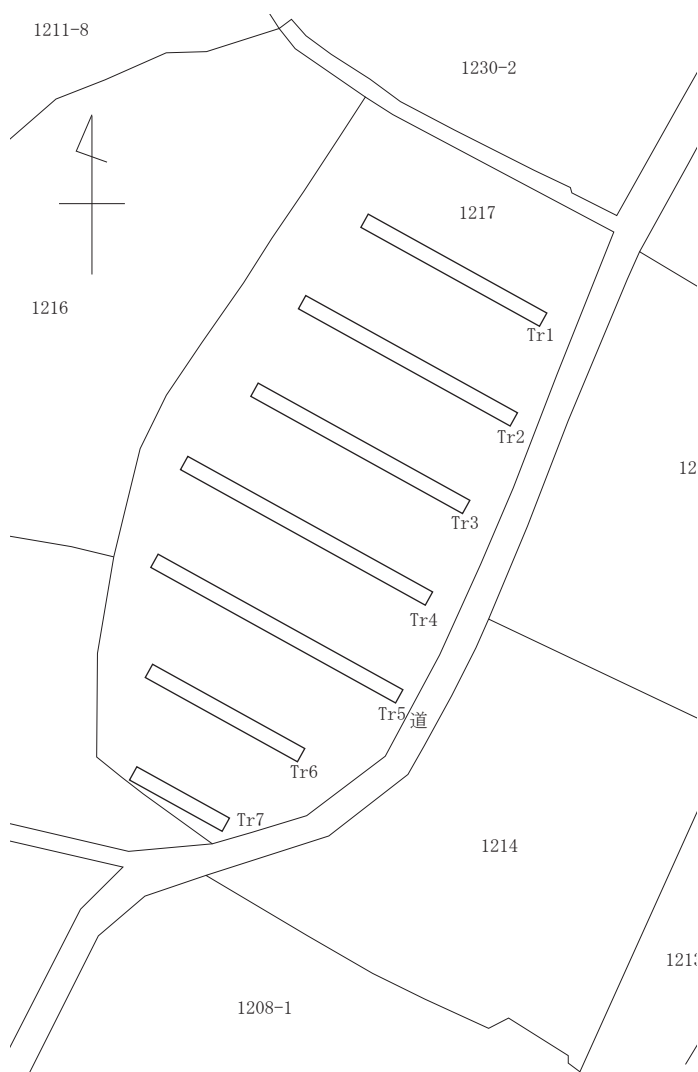
1層 暗褐色 (10YR3/4)。粘性、しまり強い。耕作土。

2層 黄褐色 (10YR5/6)。粘性、しまり強い。φ 1 cm ～ 50 cm 大のレキ含む。

2層上面で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地東側全景【南より】

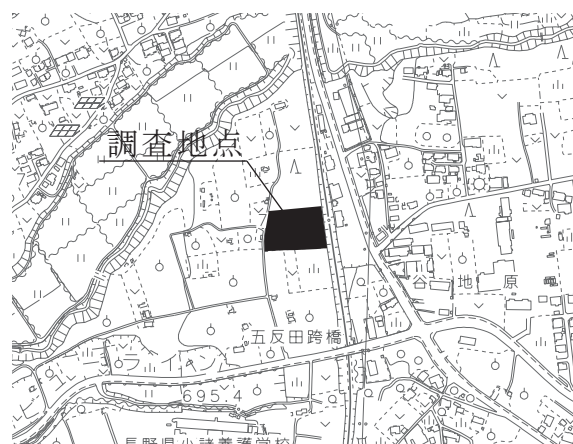


Tr1【西より】

試掘調査

谷地原遺跡群①

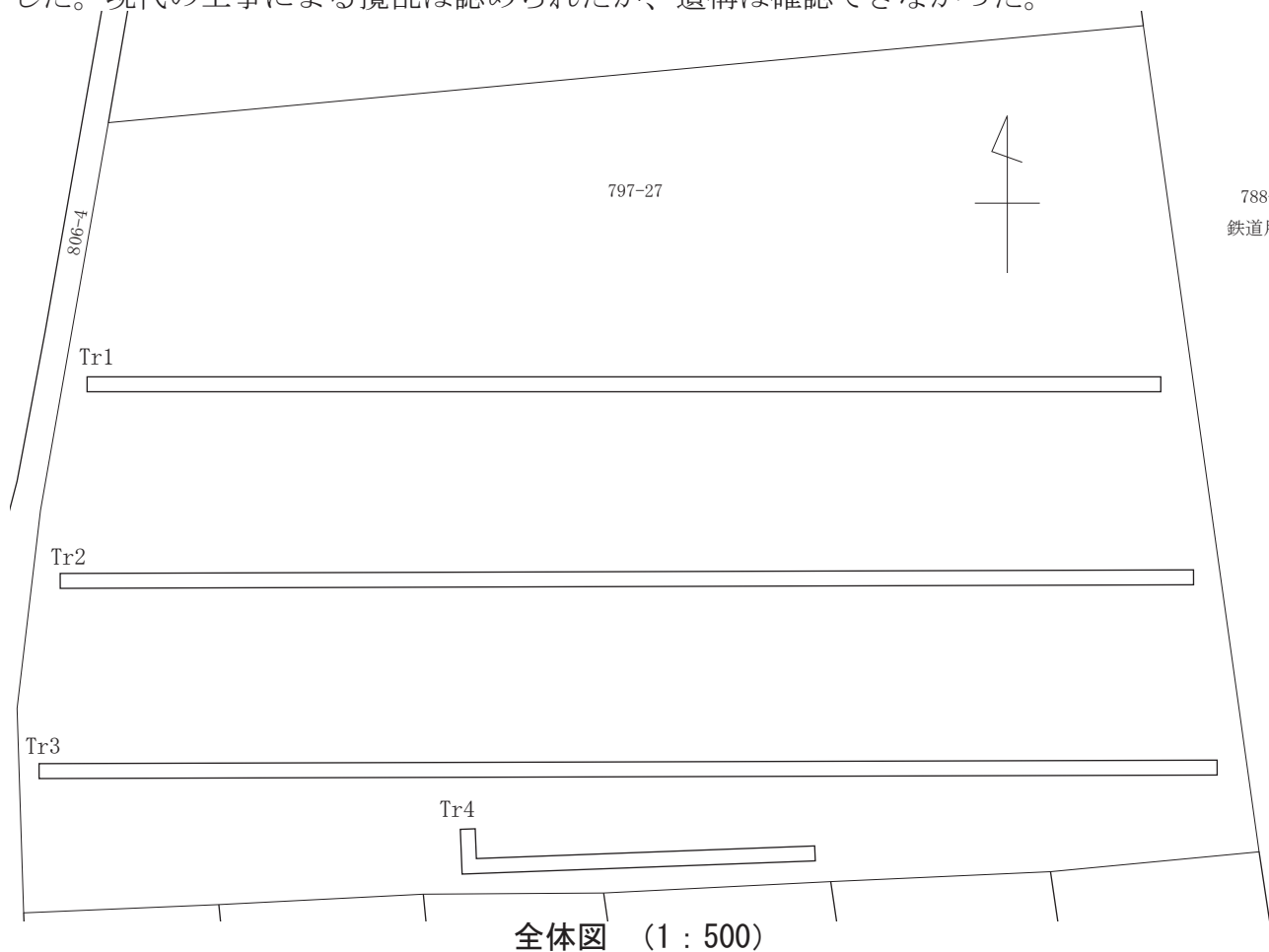
所在地 小諸市大字市 797-27
事業概要 太陽光発電設備設置
開発者 株式会社エコ革
調査期間 令和2年10月19日～10月20日
調査面積 252.7 m²
検出遺構 なし
出土遺物 黒色土器破片
調査所見



位置図 (1 : 10,000)

太陽光発電設備に付属する浸透施設を対象に試掘調査を実施する。

現況地表面より70cm下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構の検出作業を実施した。現代の工事による攪乱は認められたが、遺構は確認できなかった。



調査地全景【北西より】



Tr1【東より】

試掘調査

谷地原遺跡群②

所在地 小諸市大字御影新田 2497-11

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和2年10月14日

調査面積 24 m²

検出遺構 なし

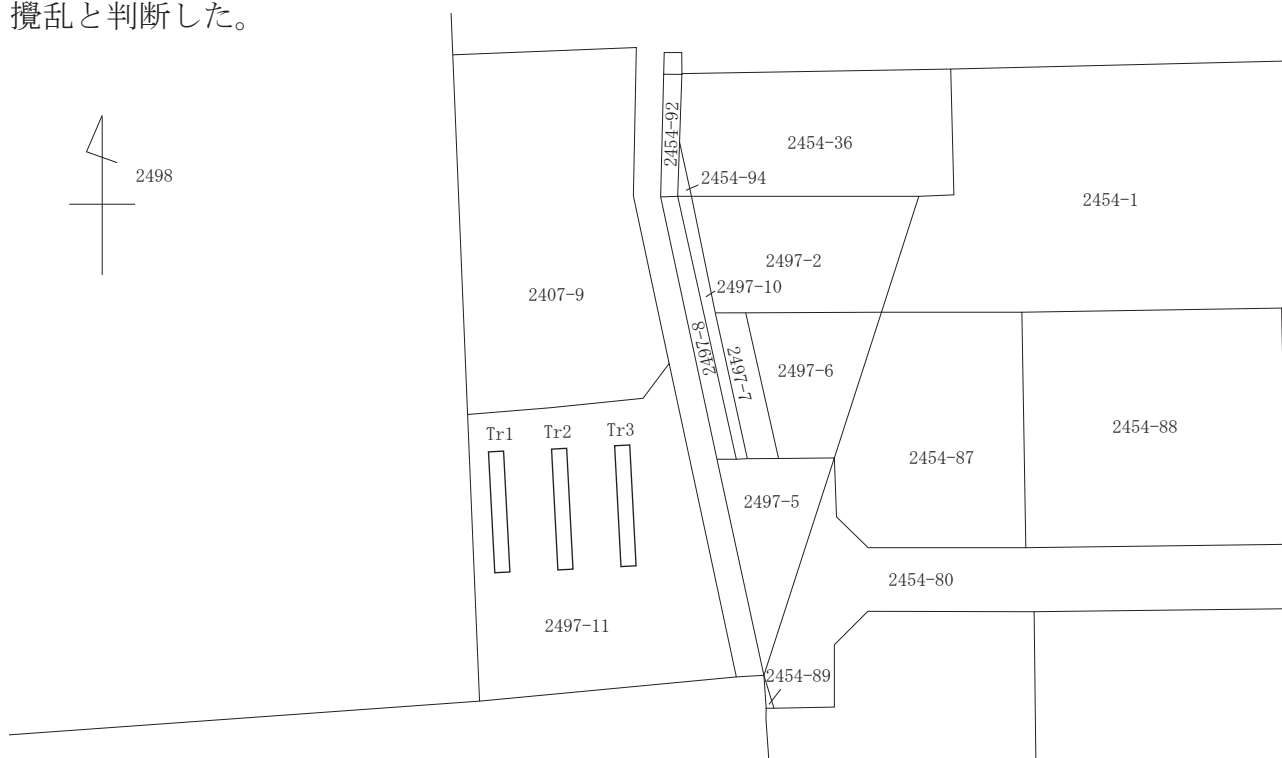
出土遺物 なし

調査所見

個人住宅の建設に合わせて試掘調査を実施する。地盤改良部分を調査の対象とし重機により掘り下げを行った。現況地表面より1 m程度下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を実施したところ掘り込みを確認したが、現代のゴミが入っており、攪乱と判断した。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【北東より】



Tr1【北より】

試掘調査

三子塚遺跡群①

所在地 小諸市大字平原 1663-3、1665-1、1669-1、1669-2

事業概要 太陽光発電設備設置

開発者 株式会社レニューパシフィック

調査期間 令和2年9月23日～9月24日

調査面積 114 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

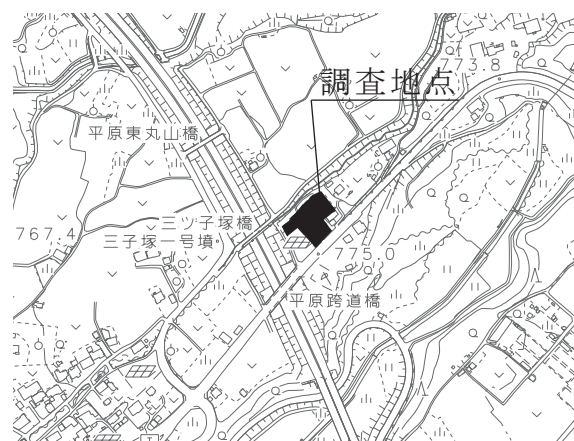
太陽光発電設備に付属する浸透施設を対象に試掘調査を実施する。

基本層序は下記のとおり。

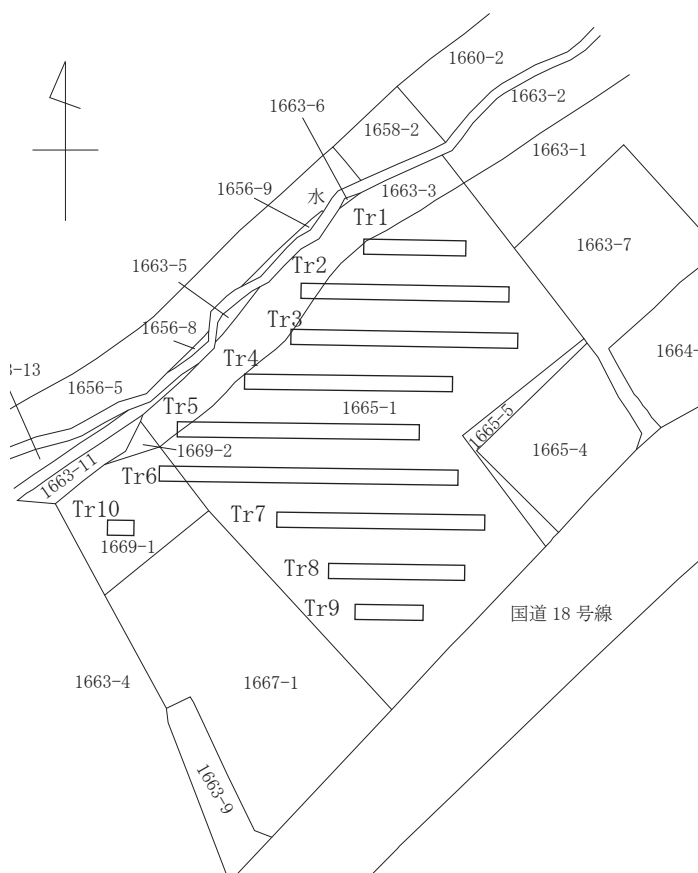
1層 黒褐色 (7.5YR3/2)。φ1cm～5cm大の石、軽石含む。耕作土。

2層 にぶい橙 (7.5YR7/3)。φ1cm～3cm大の軽石含む。浅間第2軽石堆積層。

2層上面で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 1,000)



調査地全景 (上空) 【南より】

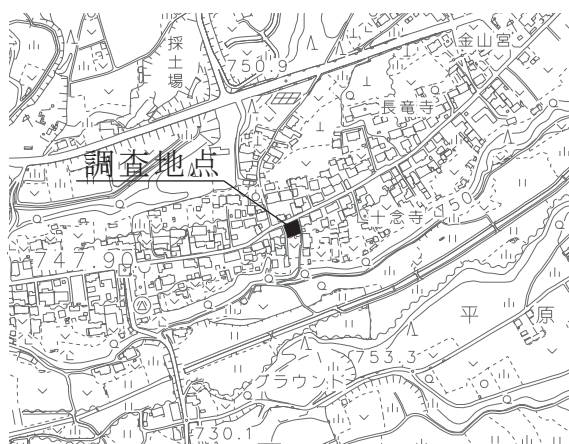


Tr1 【東より】

試掘調査

三子塚遺跡群②

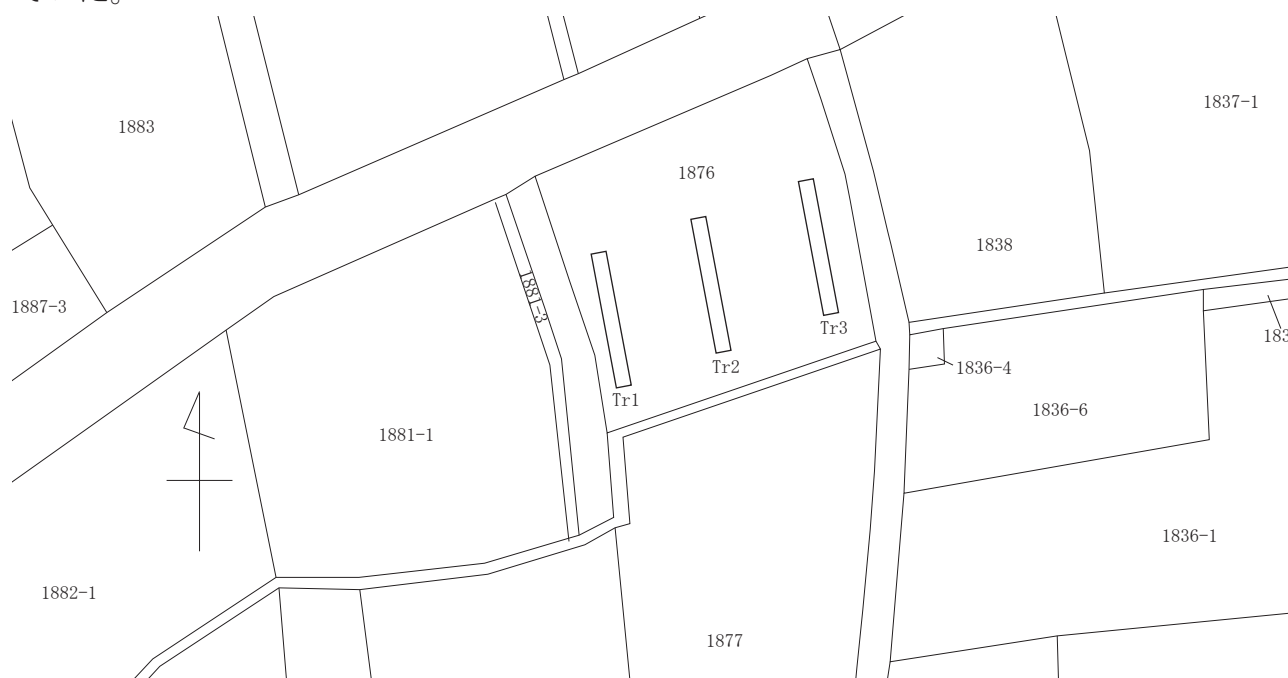
所在地 小諸市大字平原 1876
事業概要 集合住宅建設
開発者 大和ハウス工業株式会社
調査期間 令和2年9月25日
調査面積 27 m²
検出遺構 なし
出土遺物 なし
調査所見



位置図 (1 : 10,000)

集合住宅の建設に伴い試掘調査を実施する。調査区に3本トレンチを設定し、重機により掘り下げた。現況地表面より50cm～60cm程度下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を行ったが、遺構は確認できなかった。

掘削した層からは塩ビ管や現代のゴミ等が検出されており、ところどころ攪乱を受けていた。



全体図 (1 : 500)



調査地全景【西より】



Tr1【西より】

試掘調査

宮ノ反A遺跡群

所在地 小諸市大字御影新田 1328-1、1328-2、
1328-5、1328-9、1328-10、1332-2、
1332-3、1332-4、1332-5、1332-6

事業概要 宅地造成

開発者 有限会社カツミ不動産

調査期間 令和2年7月20日

調査面積 89.1 m²

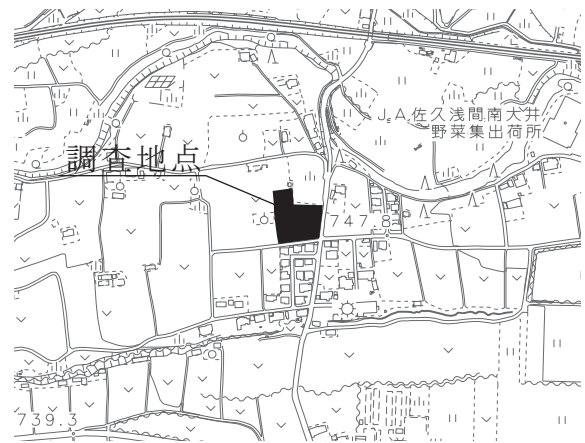
検出遺構 住居址9軒、土坑15基

出土遺物 土師器、須恵器

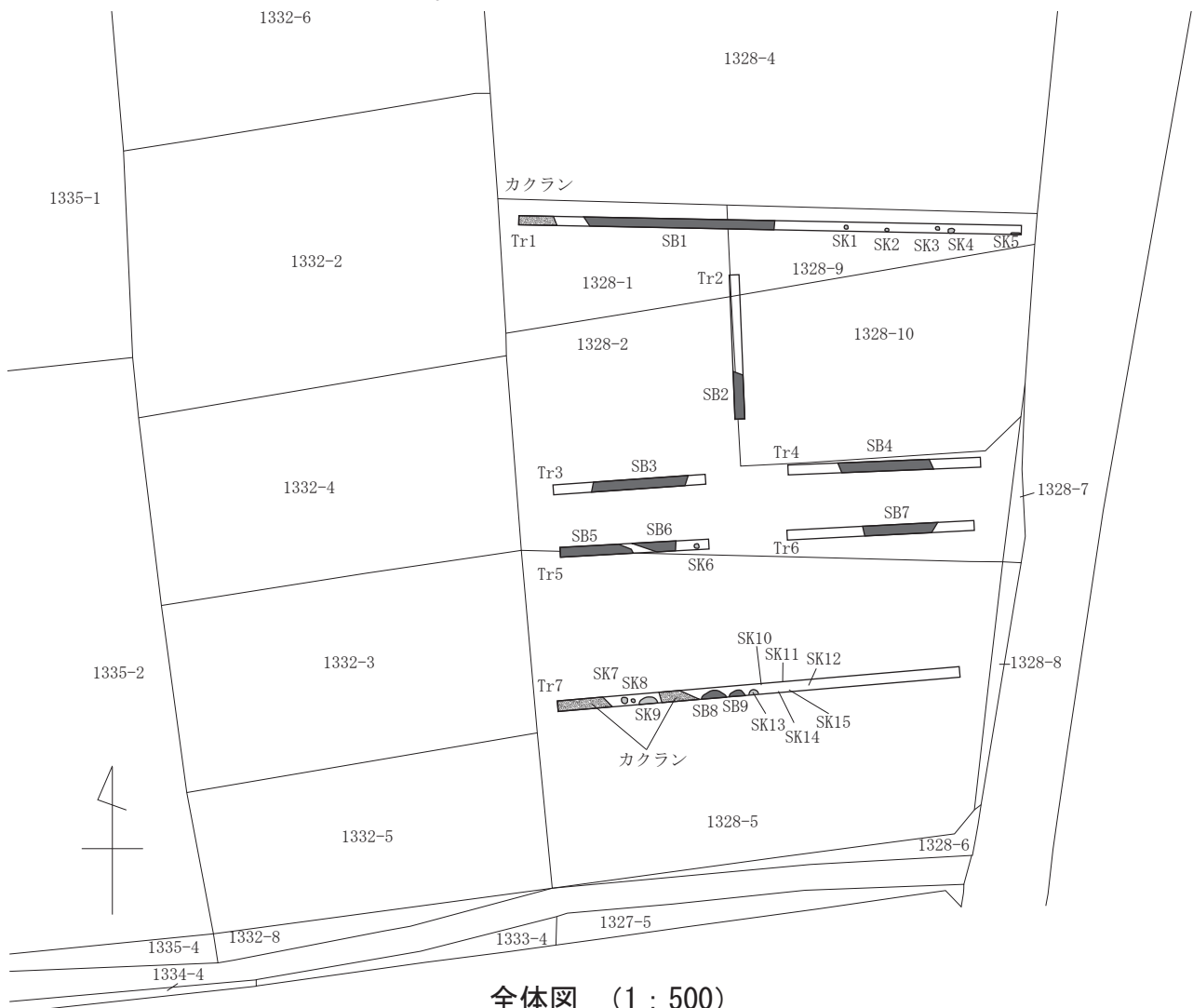
調査所見

宅地内碎石舗装通路及び境界コンクリート壁を中心にトレンチを設定し、重機により掘り下げた。現況地表面より50cm～60cm下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構確認作業を行ったところ、住居址9軒、土坑15基が確認された。

遺物としては、住居址及び土坑を中心に、土師器、須恵器が確認された。時代は、古墳時代～平安時代のものである。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景（上空）【西より】



SB1 のプラン（Tr1 で検出）【東より】



SB2 のプラン（Tr2 で検出）【南より】



SB3 のプラン（Tr3 で検出）【東より】



SB4 のプラン（Tr4 で検出）【西より】



SB5、SB6 のプラン（Tr5 で検出）【東より】



SB7 のプラン（Tr6 で検出）【東より】



SB8、SB9 のプラン（Tr7 で検出）【東より】

試掘調査

平原城跡①

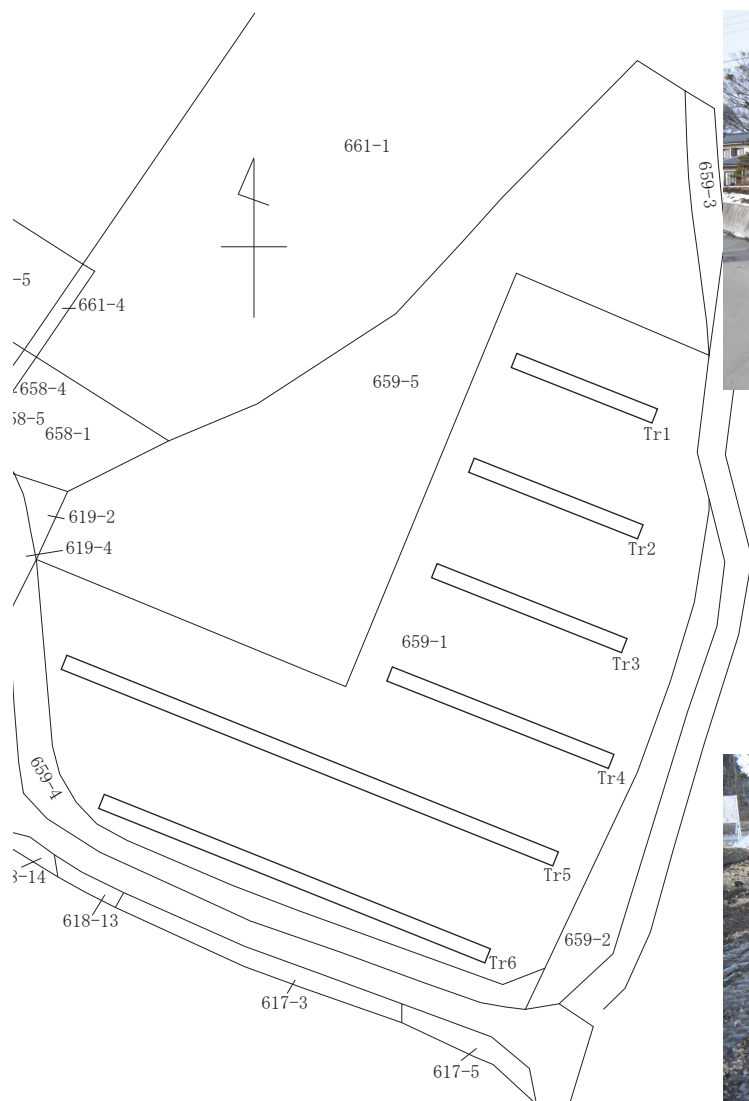
所在地 小諸市大字八満 659-1
事業概要 太陽光発電設備設置
開発者 リベラルソリューション株式会社
調査期間 令和3年1月26日～1月28日
調査面積 113.75 m²
検出遺構 なし
出土遺物 なし
調査所見

太陽光発電設備に付属する浸透施設を対象に試掘調査を実施する。

現況地表面より10cm～40cm下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構の検出作業を実施した。現代の工事による攪乱は認められたが遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南東より】

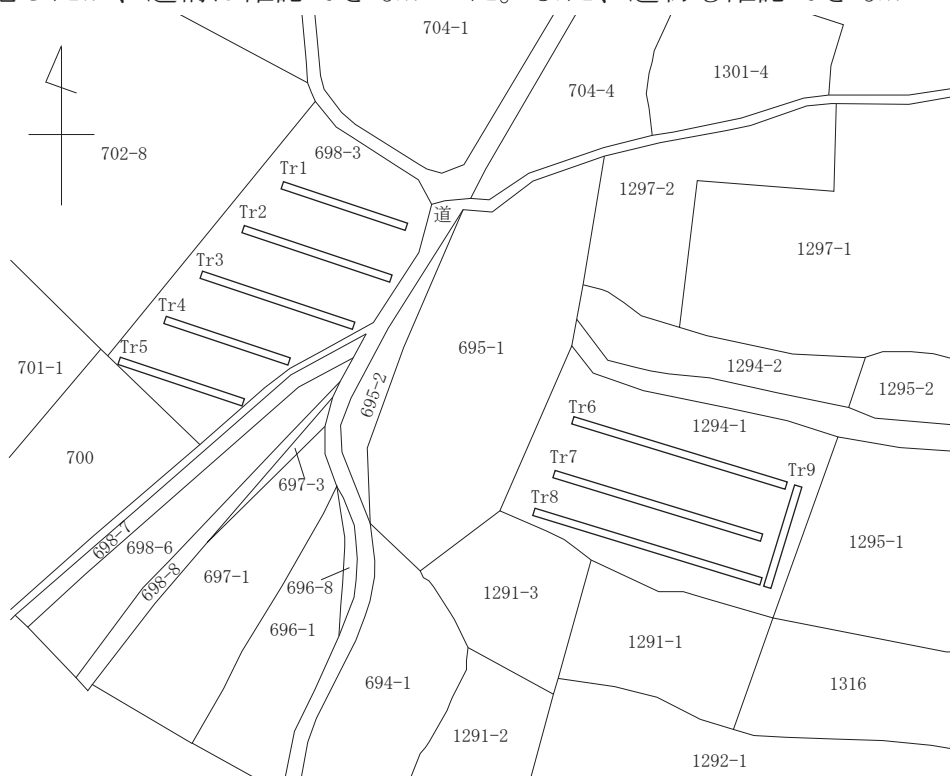


Tr2【西より】

平原城跡②

調查所見

現況地表面より 20cm～40cm 下で浅間軽石流堆積層に到達。本層上面で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



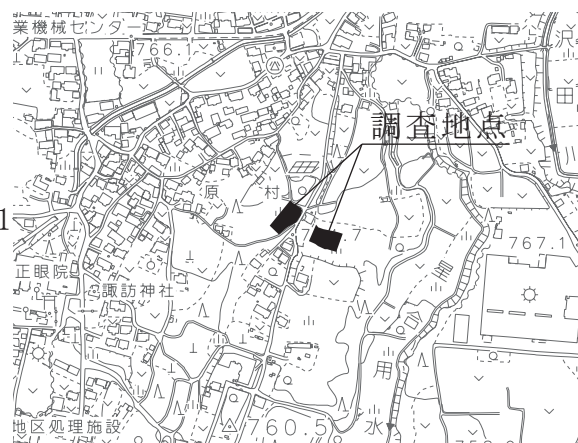
全体図 (1 : 1,000)



調査地全景【南より】



Tr1 【酉より】



位置図 (1 : 10, 000)

試掘調査

郷土遺跡

所在地 小諸市東雲四丁目 4163-16

事業概要 宅地造成

開発者 有限会社新栄開発

調査期間 令和3年3月26日

調査面積 66.5 m²

検出遺構 なし

出土遺物 縄文土器、土師器

調査所見

宅地延長道路にトレンチを設定し、重機により掘り下げた。

基本層序は下記のとおり。

1層 黒褐色 (10YR3/2)。耕作土。

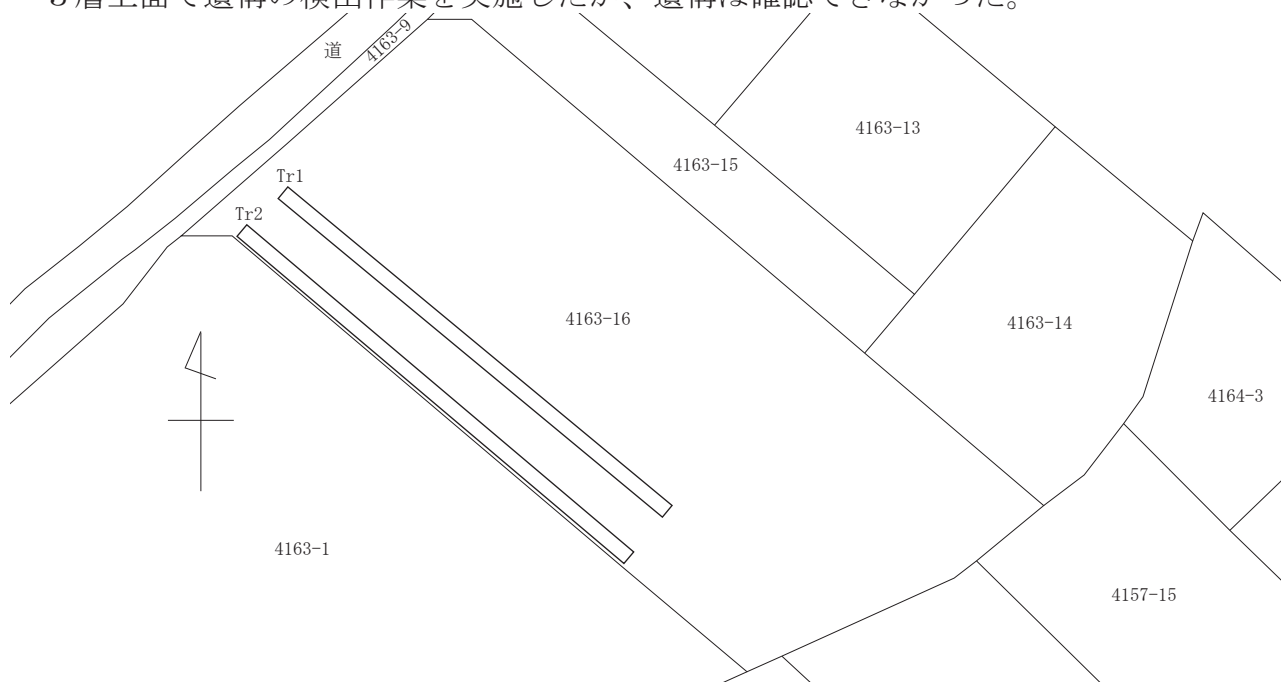
2層 黒褐色 (10YR2/2)。φ 5 cm 大の軽石含む。

3層 黄褐色 (10YR5/8)。φ 2 cm ～ 15cm 大の軽石含む。浅間軽石流堆積層。

3層上面で遺構の検出作業を実施したが、遺構は確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【北東より】

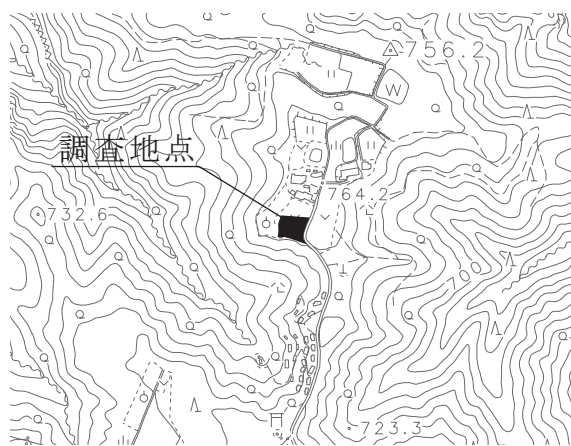


Tr1【南東より】

試掘調査

堀ノ内城跡

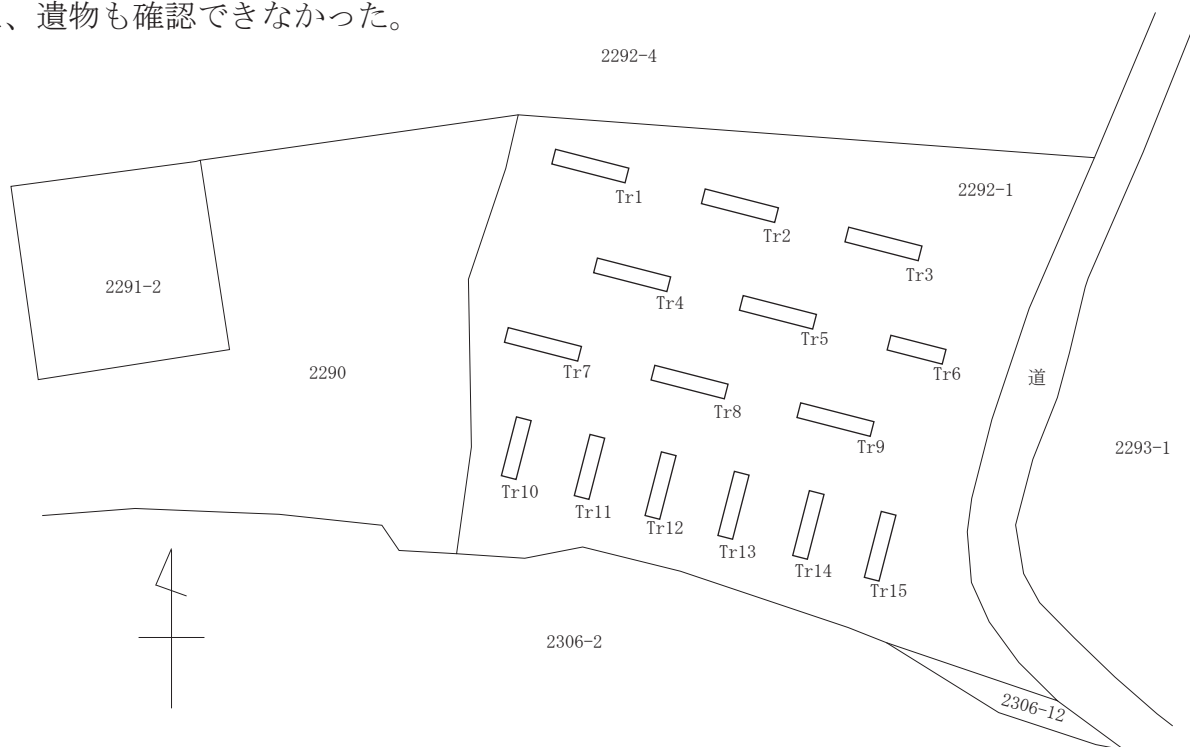
所在地 小諸市大字大久保 2292-1
事業概要 太陽光発電設備設置
開発者 個人
調査期間 令和3年3月4日～3月5日
調査面積 69.6 m²
検出遺構 なし
出土遺物 なし
調査所見



位置図 (1 : 10,000)

太陽光発電設備に付属する浸透施設を対象に試掘調査を実施する。

現況地表面より 40cm 下で巨レキを含む火山性堆積層に到達。本層上面で遺構の検出作業を実施した。現代のゴミや建材を含む攪乱は認められたが遺構は確認できなかった。また、遺物も確認できなかった。



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南東より】



Tr1【南より】

報告書抄録

ふりがな	しないいせき
書 名	市内遺跡 2020
副書名	令和 2 年度小諸市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	46
編著者名	星野保彦、井出勇介
編集機関	小諸市教育委員会
所在地	小諸市相生町三丁目 3 番 3 号
発行年月日	2025 年 3 月 27 日

小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 46 集
市内遺跡 2020 令和 2 年度小諸市内遺跡発掘調査報告書

発行日 2025 年 3 月 27 日
編 集 〒 384-8501 長野県小諸市相生町三丁目 3 番 3 号
小諸市教育委員会
発 行 小諸市教育委員会
発行所 〒 384-0026 長野県小諸市本町二丁目 1 番 4 号
ヨダ印刷サービス株式会社
